

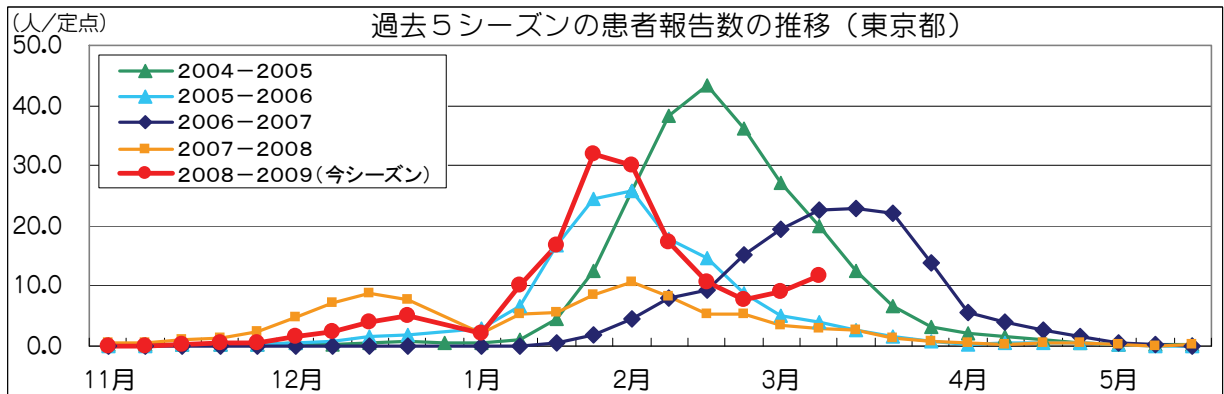
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

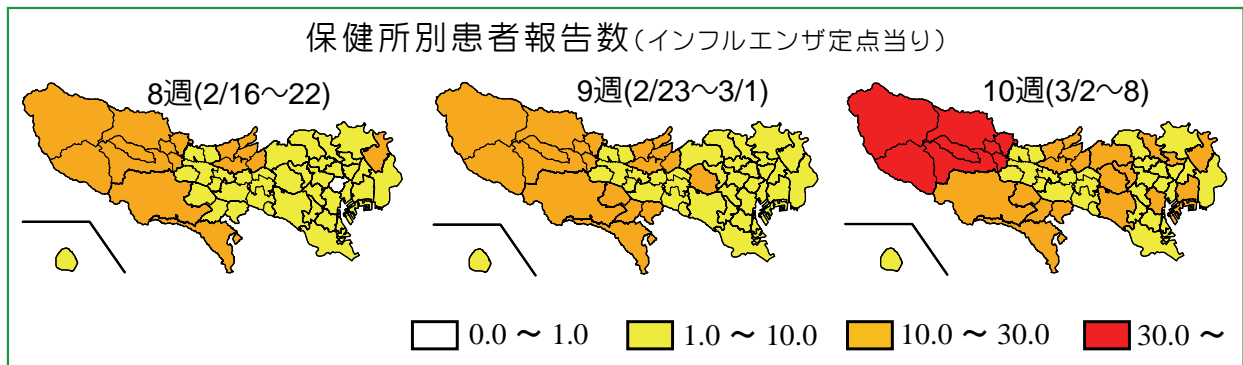
今号(第14号)のトピックス

- 第10週(3月2日～8日)のインフルエンザ患者報告数は 3,327人、定点当たり 11.63人(去年同期 849人、定点当たり 2.97人)
- 「インフルエンザの流行注意報」の基準値を再度超える
- 16区22市2町で学級閉鎖
- 36都府県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が10人を超える
- 第10週(3月2日～8日)における東京都の流行規模は、全国で32位

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第10週(3月2日～8日)の患者報告数は東京都で 3,327人、定点当たり 11.63人です(去年同期 849人、2.97人)。定点当たりの報告数は第8週を底に増加に転じています。「インフルエンザの流行注意報」の基準値を超える状況ですので、今後の動向に注意を払う必要があります。

第10週における全国の患者報告数は71,107人、定点当たり 14.85人です。

2 都内学校の学級閉鎖状況

3月2日～8日に、16区22市2町でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

*:インフルエンザ定点

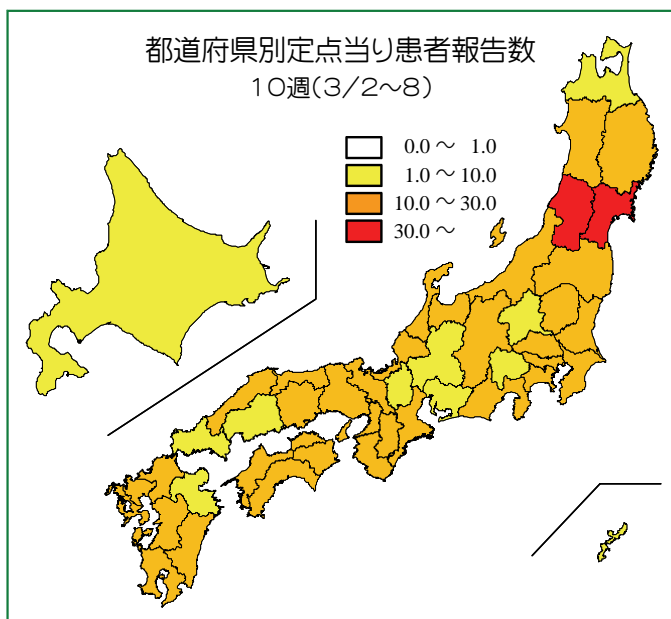
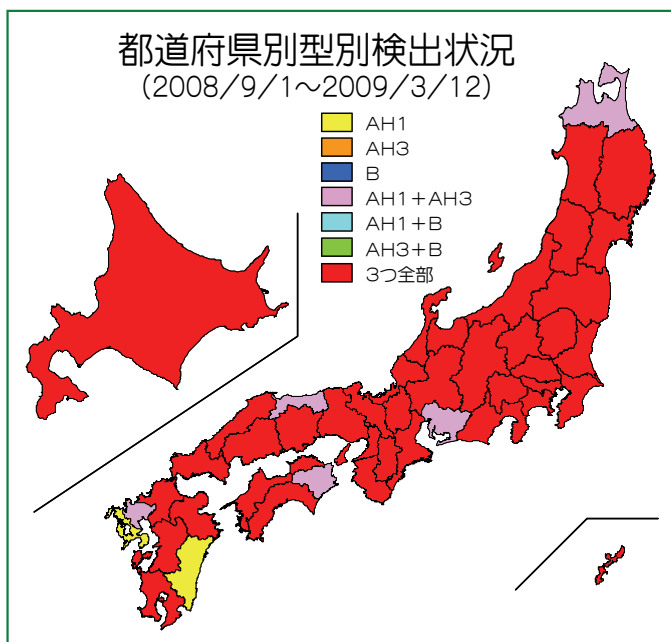
インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-8週 (9/1-2/22)	695	320	203	94	23
9週 (2/23-3/1)	25	11	5	0	6
10週 (3/2-8)	45	20	3	4	13
合計			211	98	42

表2. オセルタミビル (タミフル)
耐性ウイルス株の検出状況

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	16	16
学級閉鎖等	18	18



3 東京都と全国の検査情報

(2008年9月以降)

3月8日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が211件、AH3亜型が98件、B型が42件PCR法により検出されています。

3月11日までに感染症発生動向調査事業等で当センターに搬入された検体から分離したインフルエンザウイルス(A/H1N1)34株について、オセルタミビル耐性遺伝子の解析を行ったところ、すべての株からオセルタミビル耐性遺伝子が検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、3月12日までに、全都道府県からAH1亜型、45都道府県からAH3亜型、40都道府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH1亜型が徳島と長崎の2県から、AH3亜型が香川と大分の2県から、B型が鹿児島と沖縄の2県から報告されました。

4 全国の流行状況

第10週(3月2日~8日)現在、36都道府県がインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。

東京(11.63人/定点)は全国で32番目になっています。

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/